



河津バガテル公園マスコットキャラクター
ガッテルくん登場！

(11月6日、河津バガテル公園10周年記念、まるかじり市)



おむくささげで神子装束姿をした女の子
昭和29年撮影、当時6歳
写真提供
右：島崎幸子さん（船長）
左：外岡君代さん
旧姓島崎（下の車）

見高浜 みこしのお供をして歩く女の子

01 神子さん姿の“おむくささげ”

昔から見高浜区の夏祭りで行われている「おむくささげ」。白い着物を着て赤い袴をはいた神子さん姿の女の子がみこしのお供をして区内を歩きます。「おむくささげ」は「お無垢捧げ」と書き、純粹だけがれのなものをささげるという意味です。神さまに喜んでもらうように、神さまに仕える神子役に小さな女の子を選ぶようになったのが始まりと言われています。昔は子どもの数が多かったので、一家の長男の第一女子が川東地区と川西地区から1人ずつ選ばれていました。今は子どもの数が少なくなり、選考基準にとらわれず選ばれています。

見高入谷 四季を通して楽しめる

02 基幹農道からの眺め

見高入谷区のおすすめは、今年3月27日に開通した河津町と東伊豆町を結ぶ「基幹農道見高稲取地区」からの眺め。伊豆見高入谷高原温泉に勤務する相馬友雄さん＝筏場＝も、農道から見る四季折々の景色を楽しんでいます。「春は桜と菜の花のコントラスト、夏は蜃気楼で伊豆七島が揺れて見えます。空気が澄んだ秋は、1年のなかで伊豆七島が一番くっきり見える季節。冬はみかんの黄色が大地にちらばりとてもきれいです」



春の農道からの眺め

長野区の見学袋と回覧板



長野 誕生のきっかけは回覧板

03 23番目に誕生 長野区

長野区は、昭和55年に町内で23番目に誕生した一番新しい区です。もともと見高浜区の中の一地域だった長野、その誕生のきっかけになったのが回覧板です。あるとき、見高浜側からまわってくるはずの回覧板が長野側に届かないことがあり「それならば自分たちで」と奮起したのが区として独立するきっかけになったとか。それから30年、公民館や神社を新しく建て、移住者も増えて人口は増加。今では人口が町内7番目の大地区に成長しました。

23地区〇ごと 再発見

皆さんは自分が住んでいる地区のことをどれだけ知っていますか？ 地区の歴史や昔からの風習、意外に知られていないおすすめスポットなど。私たち民間広報協力員が町内23地区すべてを徹底取材。身近な町の魅力を町民目線で紹介します！

逆川 精密な木彫りに感動

04 三島神社の本殿

三島神社は、逆川から下田に抜ける国道414号沿いにあります。拝殿の裏に道路からは見えない123段の石段があり、石段を登った先にヒノキ林に囲まれた本殿があります。本殿は宝永3年（1706年）、江戸時代中期に建てられたもので、建物全体に当時の宮大工たちによる精密な木彫りが施されています。柱には象や獅子の頭部をかたどった木彫りも施されていて、一見の価値がある芸術品です。



木彫りが施された本殿



河津の秋「まるかじり市」が11月6日、フランス広場で行われました。一般公募した公園のマスコットキャラクター「ガッテルくん」のお披露目、河津の郷土料理の出店ほか、町内で活動する個人・団体による舞台発表が行われました。

①郷土料理が並んだ出店ブース ②商工会女性部のよさこい ③ハーラウ・オーエフカイトモナガのフラダンス ④長谷隆行さんのアコースティックギター演奏 ⑤ガッテルくんと記念撮影

河津バガテル公園 10周年記念イベント
Jardin de Bagatelle the 10th anniversary

ルディックウォーキング河津バガテルは11月12日に行われ、町内外から約120人が参加しました。オレンジリーでの講習後、河津桜観光交流館に移動して、海岸や峰温泉大噴湯をまわる約7kmのコースを歩きました。

①オレンジリーでストレッチ講習 ②バラを見ながらローズガーデン内を歩く参加者 ③河津川沿いを歩く参加者 ④今井浜海岸で記念撮影 ⑤ゴール後、講師のいわせ直美さん（左）、福島のリ子さん（中央）、三星マナミさん（右）による抽選会



上峰 神さまは明かり好き

12 夜泣きを治す大日天さん

村串とくきさん（堂の上・86歳）がお嫁に来たときには、すでに家の敷地内に祀られていたという大日天さん。夜泣きの神さまで、子どもが夜泣きをしたときにお参りすると治ると言われています。明かりが好きな神さまと伝えられ、村串家では昔、夜になるとひと晩中ろうそくを燈していたそうです。（今は毎晩電燈をつけて明るくしています）

大日天さんに毎日手を合わせるといとくきさん。「病気知らずで元気に畑仕事ができるのは大日天さんのおかげ」と笑顔で話してくれました。



村串家の敷地内に祀られている大日天さん
横には明かり好きな神さまのための電燈

湯ヶ野 利用者の憩いの場

14 湯ヶ野の共同浴場

国道から湯坂を下った河津川沿いに湯ヶ野共同浴場があります。明治創業の旅館湯本樓の1階に併設されていて、川端康成の「伊豆の踊子」にも登場した趣きある建物。現在は約50軒の区民が利用しています。天候が悪い日でも自宅の風呂場を使わずに共同浴場に来る人もいるそうで、利用者同士の憩いの場になっています。以前は区民専用でしたが、今は区民以外でも寄付をして利用できるそうです。



湯ヶ野共同浴場の入口

田中 手を合わせて感謝

11 山崎のお地藏さま

ランドセルを背負った子どもたちがお地藏さまに手を合わせている姿を見かけたことはないですか？ 来宮神社バス停の向かい側に立つこのお地藏さまは「山崎地藏」と言われ、安産や子宝のご利益があると言われています。登校するときに子どもたちが手を合わせるようになったのはもう何年も前から。地域の人たちをいつも優しく見守ってくれているお地藏さんに感謝して手を合わせるようになりましまつた。班の人が交代で大切に祀っていて、いつもきれいな洋服と花で飾られています。



登校の途中で「今日も元気に行ってきます」と
山崎地藏さまに手を合わせる子ども

大鍋 エピソードもりだくさん

10 探しものには庚申さん

なくしたものを見つけてくれる神さまとして有名な庚申さん。大鍋区内には5体あり、そのうちのひとつを区民が庚かのえさる猿の日（年約6日）に持ちまわりで祀まつっています。

実際に、「東京で財布を落とし諦めていたが、庚申さんをお願いした翌日警察から連絡があり手元に届いた（大鍋の大学生談）」、「なくした免許証が子どものおもちゃ箱から見つかった（民間広報協力員談）」などエピソードが多数。見つかったあとのお礼参りは、線香に花と団子を添えてお供えするとよいそうです。



大鍋口から3kmほど行った道路脇に立っている庚申さん

笹原 区画整理で生活基盤整備

13 笹原区の昔の風景

笹原区では、平成5年から平成17年にかけて、道路や水路などの生活基盤を整備する土地区画整理事業が行われました。以前の笹原区は、現在の図書館や河津桜観光交流館の辺り一面に田畑が広がっていました。笹原公園周辺は通称「笹原グラウンド」と呼ばれた空き地で、ソフトボールやサッカー、ゲートボールなどの練習場としてたくさんまつの町民に利用されてきました。この20年の間に劇的に変わった笹原区、今と昔を比べてみるのもおもしろいですよ。



田畑が広がっていたころの笹原区周辺

浜 子どもみこしが約30年ぶり復活

06 勇猛果敢な浜の祭



平成21年の大祭

浜区では、毎年7月に「浜須はます在乃男神社大祭」が開催されます。祭神の須在乃男命は荒々しい神さまとして有名です。みこしは厄年の男性と浜天王会の会員によつて担がれます。一番の見どころはみこしを担いで海に入る場面、その荒々しさはまさに須在乃男命のように勇猛果敢です。また今年は、約30年ぶりに地区の

谷津 地元の漁師が頑張っています

08 港から元気を発信！

毎月第2・4日曜に谷津港で開催している谷津港の朝市。ここに並ぶ新鮮な魚介類を獲っているのが、町漁業経営振興会谷津部会の皆さんです。現在、定置網の会社と約10人の漁師さんが漁をしています。5月から10月は、サザエ、アワビ、トコブシ、シッタカなどを潜つて獲り、10月から5月は、おもに夜に網を仕掛けて早朝に漁をするエビ網漁で伊勢エビを獲っています。港から元気を発信しようとするみな頑張っています。ぜひ朝市に出かけてみてください。



谷津港から見た河津浜方面

●もの知りメモ

【大敷・おおしき】

谷津港がある辺りを「大敷」と呼ぶが、「大敷」は地名ではなく「大きく敷いた網」という意味からきた呼び名だそうです。

●もの知りメモ

【沢田石】

町内では、踊り子温泉会館の女風呂の浴槽に沢田石が使われている。県外では、帝国京都博物館（現在の京都国立博物館）の外観装飾部分に使われている沢田石が有名。

←田中側にある採掘跡の入口、大きさはタテ約120cm×ヨコ100cm



下峰 樹齢850年の巨木

05 東大寺のホルトの木

ホルトの木



東大寺の墓地へと続く小道の脇に樹齢850年の巨木があります。名前は「ホルトの木」、俗名をチイの木といいます。住職の宮川多聞さんが子どものころから樹齢850年と聞いていたそうで、幹の部分が半分枯れている風損木でなければ天然記念物になってもおかしくない巨木だそうです。実はオリブに似ていて、ホルトの名前はホルト油（オリブ油）が採れる木と誤ったとも言われています。

縄地 料金所を通らないと出られない

07 縄地にあった料金所

下田と伊東を結ぶ東伊豆道路（国道135号）が無料開放されたのは1982年。それまで縄地と長野に料金所がおかれていました。当時は新天城トンネルにも料金所がおかれていたので（2000年無料開放）、町民は出入りするたびに料金を払わなければなりません。縄地料金所は、縄地バス停から少し下田側、藤田屋さん近くの路肩が広がった場所にありました。通行料金は100円でした。



昭和29年開通当時の縄地料金所

沢田 河津の地場産業だった

09 沢田石ってどんな石？

20年ほど前まで、沢田区で沢田石の採掘が行われていたことを知っていますか？ 今は沢田から田中へ続く約800mの採掘跡が残るだけですが、明治時代は大規模な採掘が行われ県外へも出荷されていた河津の地場産業でした。

沢田石は緑色凝灰岩で青石とも呼ばれます。特徴は、やわらかいので加工しやすく耐火性がある一方、年月が経つと風化しやすいという弱点もあります。家の外壁や基礎、浴槽などに使われ、特に水を張ると濃い緑色になりとてもきれいです。

【筏場】 イベントならおまかせ

21 筏場天神会

筏場区には区の有志で結成する筏場天神会という団体があります。区の祭りや敬老会、6月に開催するホテル観賞会の段取りはもちろん、河津バガテル公園納涼市など町内のイベントにも積極的に参加してイベントを盛り上げています。ほかに、子どもたちを対象にした田植えや稲刈りなどの農業体験イベントも実施しています。スケジュールは多忙を極めますが作業後の反省会が何より楽しいとか。これからも町を盛り上げてほしいです。



5月の田植えの様子

【下佐ヶ野】 大・小・いびつもお愛嬌

23 手づくりの投げ餅

下佐ヶ野区の秋祭りでは、子どもたちが丸めた手づくりの餅で投げ餅が行われています。材料は、区内にある田んぼで子どもたちが収穫したもち米を使っています。小さな手でたくさんの餅を丸めるので、餅のサイズも大きかったり小さかったり。ちょっといびつなのもご愛嬌。最後に抽選券と餅を袋に入れてできあがりです。区民が楽しみにしている手づくりの餅、きっとひと味違うんでしょね。大切にしたい地区の行事です。



左：投げ餅を丸める子どもたち
上：稲刈りの様子

◆どこへ取材に行っても快く応じてもらいとても楽しく取材ができました。読んだ人がほかの地区に興味を持って町の良さを再発見してくれたらと思います。

◆天川区の取材で山に登り筋肉痛になりました。昔の人はこんな山を登っていたのかと、文明の利器に頼り切っている自分の無力さを思い知らされました。安藤圭一

◆地区ごとに受け継がれている伝統が多いことを知りました。この伝統を守り後世に伝えていくことが大切だと思います。

◆河津に住んでいながら知らないことがたくさんありました。時間ができたら改めて行ってみたいと思います。渡辺須実子

◆広報の取材の名のもとに、町を掘り下げて調べることができてとても楽しかったです。勝俣有希子

◆河津へ嫁いで16年がたちましたが、まだまだ知らないことがたくさんありました。再発見もあり、これからも河津に根づいていけそうです。島崎由美子

◆地域のことを改めて知ることができ、後世に伝えたいこともたくさんありました。地域の人ともコミュニケーションがとれて、楽しかったです。宮原貴子

◆河津に嫁にきて早10年。知っているようで知らなかった町のことを知り、もっと河津が好きになりました。土門ゆき

◆地元の地区を担当しましたが新しい発見ができて良かったです。町内の名所めぐりがしたくなりしました。板垣祐太郎

取材にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

編集後記

【天川】 天川と逆川の境にある

20 広尾のお地藏さん



山頂の天川側（上）、逆川側（下）にあるお地藏さん

【上佐ヶ野】 農場で無農薬野菜づくり

22 東京グリーンプロジェクト

東京グリーンプロジェクト（藤森孝幸代表）は、東京世田谷区で無農薬野菜づくりなどに取り組む団体です。昨年12月から上佐ヶ野の遊休農地を利用して小麦や大豆、サツマイモなどの野菜を栽培しています。種まきや収穫体験イベントのほか、健康セミナーやサマーキャンプなども開催して区民との交流を深めてきました。今後は、農場で収穫した小麦や野菜を使った河津ならではの商品づくりに力を入れていきたいそうです。



上：農場で収穫した無農薬野菜 下：約2反ある農場

【梨本】 七滝の名水で茹であげる

16 名物滝うどんはいかがですか？

七滝遊歩道を出合滝から初景滝に向かう途中に、中村武さん・華織さん夫婦が営む食事処「肉月」があります。2003年にオープンした店内は、福島県から古民家を移築して約10年かけて完成させたというこだわりの空間です。名物は、七滝の名水を使ってかまどで茹であげる「滝うどん」。夏は七滝の名水を凍らせて作るかき氷「滝氷」も人気です。今の季節は、武さん自家製の竹炭を使い七輪で干物や肉を焼いて食べる定食がおすすめ。七滝見物のついでにいかがですか？



通年で食べられる滝うどん（上）のほかに、滝うどんの上に夏野菜がのった夏限定の「やたら滝うどん」も人気。右は、かまどでうどんを茹でる武さん



【泉原】 伊豆半島の歴史がわかる

19 2000万年前の化石

梨本神社境内の裏を少し上ったところにある河津川の支流、奥原川の川岸に、約2000万年前の石灰岩の地層が約130mにわたって続いています。石灰岩には、熱帯の浅い海に生息していた貝やサンゴ、大型有孔虫などの化石が含まれています。大型有孔虫は当時の日本列島には存在していなかったため、伊豆半島がかつて本州と離れた熱帯の海にありプレートによって日本列島にやってきたという証明になるそうです。

【注意】現地に行くには私有地を通る許可が必要です。



川岸にある化石を含んだ石灰岩の地層

【小鍋】 頼朝ゆかりの地

15 名前の由来は小さな鍋

小鍋神社には、伊豆に流されていた源頼朝が、神社の檜の木に脇に父義朝のどくろを埋めて弔ったという言い伝えが残されています。そして、頼朝がこの地で宴を開いた際、食事を作るのに必要な大きな鍋を貸してくれた里を「大鍋」、小さな鍋を貸してくれた里を「小鍋」と名付けたと言われています。また、頼朝の一行が天城を越えるときに家来が2つの鍋を山中で落としてしまい、この場所を「鍋失（なうなひ）」と呼ぶようになったとも伝えられています。



源頼朝の伝説が残る小鍋神社

【大堰】 団子めがけてダイビング

17 大堰ならではの盆流し



峰橋からの眺め

お盆に供物を川に流す盆流しの行事はよく知られていますが、大堰区の盆流しは少し様子が違いました。大堰区では昭和50年ころまで、峰橋の上から供物を川へ流し、下で待ち構えていた男の子たちが川に飛び込んで流れてきた供物を拾っていたそうです。目当ては供物の中のお団子で、取り出したお団子をみんな川で煮て食べるのが習慣でした。今は子どもたちが峰橋から飛び込む姿が風物詩になりましたが、団子めがけて飛び込む姿もおもしろそうです。

【川横】 バス停に残る昔の地名

18 川合野ってどこ？

川横にあるバス停の名前が「川横バス停」ではなく「川合野バス停」なのを不思議に思ったことはありませんか？ もともと川横は、川合野村と隣にあった村です。戦前の川合野村は、川に挟まれた広い野原にあり、当時は郵便局や駐在所、学校の中心地でした。明治27年に県道が開通すると湯ヶ野に中心が移っていったそうです。



川合野バス停

日ごろの活動の成果を発表

河津町民文化祭舞台の部

町文化協会（入慶田本昌伸会長）主催の第30回河津町民文化祭舞台の部が11月13日、南小学校体育館で行われました。迫力ある太鼓演奏や円熟した踊りなど、日ごろの活動の成果が次々と披露され、訪れた多くの観衆から大きな拍手が送られました。また、11月4日から6日は同体育館で展示の部も行われ、書道や絵画など約800点の作品が展示されました。



音楽に合わせて体操を披露した元気クラブの皆さん

田舎暮らし体験で定住促進

田舎暮らし・ショートステイ体験

町内で移住定住の促進活動を行っているNPO法人「田舎暮らし夢支援センター」（土屋順一代表）は10月29、30の両日、町内で1泊2日の田舎暮らし・ショートステイ体験を実施しました。関東から男性3人が参加し、移住実践者を交えた定住についての意見交換会や、上佐ヶ野の農園を訪れて稲刈りや野菜の収穫体験などをして交流を深めました。



さつまいもの収穫を体験する参加者たち

紙コップのスコップでバラの花をのぞく子ども



大きなバラの花みつけた

はらぺこあおむしの会ミニ遠足

町内の子育て団体「かわづっこ子育てねっと」の読み聞かせグループ「はらぺこあおむしの会」が計画したミニ遠足が11月9日、秋バラが見ごろの河津バガテル公園ローズガーデンで行われました。親子18組が参加、紙コップに穴を開けて作ったバラ観察用スコップを渡された子どもたちが、きれいなバラの花をのぞきながら園内を元気に走りまわっていました。

町社会福祉協議会会長表彰を受賞したひまわり会の仲里司代表



社会福祉活動の功績を表彰

町社会福祉大会

町社会福祉協議会（岩井民夫会長）主催の町社会福祉大会が11月18日、役場議場で行われました。式典では福祉関係者約100人が出席して、社会福祉活動に功績があった個人と団体に賞状と記念品が贈られました。式典後は、神奈川工科大学教授、高橋勝美氏を講師に迎えて「運動介入による健康な町づくりへのチャレンジ」というテーマで記念講演が行われました。



昔懐かしい郷土料理が並んだ「ふるさとの食・河津の一品」試食コーナー

ZOOM IN KAWAZU

まちの 出来事

産業と福祉のまつり

河津ふれあいまつり

河津ふれあいまつりは10月30日、河津桜観光交流館駐車場で開催され、地場産品を展示販売する店や福祉団体など約30店舗が出店して多くの人でにぎわいました。昔懐かしい河津の郷土料理を紹介した「ふるさとの食・河津の一品」試食コーナーでは、かぼちゃを使ったほうろく餅や黄飯などの料理が振る舞われ来場者に大好評でした。ちびっこ広場のふわふわコーナーも人気で、フィナーレは伊豆の踊り子らによる投げ餅が会場を盛り上げました。

海風を浴びてウォーキング

健康づくりハイキング

今年度第2回目の健康づくりハイキングが10月23日に下田市で行われ、町民30人が参加しました。今回は、まどが浜からハリスの小径、恵比須島、爪木崎遊歩道を歩く初心者向けのコースです。参加者たちは、海風をうけて眼下に広がる青い海を見ながら須崎半島の東端に立つ爪木埼灯台を目指し、秋のさわやかなウォーキングを楽しみました。



爪木埼灯台をバックに記念撮影

子どもたちの行列ができたふわふわコーナー



焼きたてのどら焼きを販売した菓子組合のお店



図書館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■は休館日です。1月は4日から開館します。

今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会
日曜日 14時30分～
12月4・11日

乳幼児向けの読み聞かせ
「はらぺこあおむしの会」
0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分
2・3歳児向け 10時40分～11時
(木曜日)
12月1・15・22日
幼児向け 14時30分～15時
(第2木曜日)
12月8日

小学生向けの読み聞かせ
「時間のはこぶね」
木曜日 15時50分～16時20分
12月1・8・15日

※変更がある場合は、図書館に掲示します。

稲取高校生インターンシップで就業体験

【10月20日、21日】稲取高校1年生4人がインターンシップ(就業体験)で文化の家図書館を訪れ、図書館業務を体験しました。幼児や小学生に読み聞かせをしたり、カウンター業務やおすすめの本のコーナーを作ったりしました。



読み聞かせをする高校生

秋の図書館へ行こうキャンペーン



クイズに参加する子ども

【11月6日】町内の小学生約30人が参加して、図書館の本で調べながらクイズをしたり、小学生対象のおはなし会に参加したりしました。また、秋の読書月間に開設した「文化の家おすすめの本コーナー」も人気でした。

2011 子どもたちに読んでほしい本

＜厚生労働省児童福祉文化財
社会保障審議会推薦＞

2011年の本の中で、園児から中学生までの子どもたちに読んでほしい本を揃えました。ぜひ手に取って本の世界を楽しんでください。

かわづっこ子育てねっと主催 クリスマス会を開催

■とき 12月18日(日) 14時30分～
■ところ 文化の家 生涯学習室
楽しいイベントを計画しています。誰でも参加できますので、ぜひお越しください。

語りかけから、始めよう。と き：12月22日(木)13時～
今月のブックスタート ところ：保健福祉センターふれあいホール
対象者：平成23年8月生まれの赤ちゃん

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。
貸出中の場合は予約できます。

書 名 (一般書)	著 者 名	出 版 社
銀婚式物語	新井 素子	中央公論新社
小説 平清盛	高橋 直樹	潮出版社
流転の女	松下 麻理緒	角川書店
十八歳からの十年介護	町 亜聖	武田ランダム ハウスジャパン
ヤミーさんのリレー料理	ヤミー	池田書店

書 名 (児童書)	著 者 名	出 版 社
ゆきだるまのきもち	中川 ひろたか／文 村上 康成／絵	自由国民社
小さなりゅうと 海のともだち	長井 るり子／作 小倉 正巳／絵	国土社
天遊 蘭学の架け橋となった男	中川 なをみ／作 こしだ ミカ／画	くもん出版
きみにもできるよ！ お片づけのコツ	大門 久美子／文 太中 トシヤ／絵	汐文社
親子でおぼえる マンガ百人一首	新藤 協三 監修	ベストセラーズ

フレッシュ

仕事も人生も プラス思考で

渡邊 純平さん

わたなべ じゅんぺい
谷津
23歳 B型 うお座
榎スワベ商会 勤務



「こんにちは、どうぞこちらへ」とさわやかな笑顔で迎えてくれた渡邊純平さん。修善寺にある会社まで毎朝7時前に家を出て通っています。仕事では、パソコンやコピー機などの販売・営業を担当しています。「目上の人と接することが多く、常に相手の立場に立って接することを心がけています」。

好きな言葉は「敬天愛人」。西郷隆盛の言葉で、天を敬い人を愛するという意味。「仕事や人生の結果は、すべてプラスの考え方とやる気次第だと思っています」と前向きに話す純平さん。これからの活躍が楽しみです。頼もしいフレッシュさんです。

【取材】宮原貴子さん(民間広報協力員)

Monthly Report ジャカルタからアパカバール！vol.12

ジャカルタの路線バスⅡ

河津の皆さん、アパカバール(こんにちは)。
今月は、夫がよく利用するバス「コパジャ」の話です。コパジャの運賃は一律20円(先月のトランスジャカルタは35円)で、冷房がなく扉と窓がいつも開けっ放しです。バス停もなく乗り降り自由。その気軽さがいいと夫は言います。しかし、乗客が乗り降りする時にバスはピタッと止まらず動いたままです。なので、乗る時は右足から、降りる時は左足から乗り降りしないと危険です。私はこれが苦手で、夫はそんな私を「ダサイ！」とバカにします。



乗れずに行ってしまったコパジャを見送る子どもたち

インドネシアらしい光景にコパジャの中で会いました。ちょっと勇氣を出して、またコパジャに乗ってみようと思います。それでは皆さん、クテウムラギ(また会いましょう)。

未満 ひろみ
すえみつ ひろみ
青年海外協力隊調整員の夫に随行して2010年10月からインドネシアへ。一男三女の母。浜



円、20円とあげていましたが、私は彼の歌が下手だったのであげませんでした。その若者はそのまま降りていきました。ほどなく、乗客が増えてきたのでバスが動き出そうとした時、今度は片腕のない若者が乗ってきました。バスが動き出すと、その若者は自分の不幸な身の上話を始めました。話が終わるとギターの若者同様手を出してきました。彼の話はとても上手だったので、私はほかの乗客と同じように20円あげました。バスがスピー



海抜表示板取り付け作業（浜公民館）

news

津波対策で海抜表示板整備 電柱と公共施設162カ所に設置

町は、津波対策として、すでに海抜表示がされていた町内の電柱52カ所を測量しなおすとともに、下河津地区を対象に新たに89カ所の電柱に海抜表示を行っています。すでに測量は終了し、年内中に電柱への取り付け作業を行う予定です。

また、町独自の対策として公民館や学校など公共施設21カ所の海抜を測量し、海抜表示板を取り付けました。取り

付けに立ち会った総務課防災係鳥沢係長は、「町民の皆さんの防災対策の目安にしてほしい」と話しました。

【海抜表示板取り付け施設】

公民館（浜公民館・谷津公民館・谷津防災センター・笹原防災センター・田中公民館・下峰公民館・上峰公民館・沢田公民館・見高公民館）
教育関係（さくら幼稚園・南小学校・図書館・中学校）
行政機関（役場・保健福祉センター・消防河津分署）
その他（商工会・観光交流館・踊り子温泉会館・サンシップ今井浜・縄地海岸公衆トイレ）



相馬町長に提言書を提出する杉井委員長（左）と坪井副委員長（中央）

news

検討委員会が提言書提出 温泉会館在り方検討委員会

町営温泉会館の今後の在り方と施設の有効活用について検討を行っていた「河津町温泉会館在り方検討委員会」（杉井英夫委員長・町商工会長）は11月10日、提言書を相馬町長に提出しました。

提言書では、踊り子温泉会館については、今後も温泉会館として運営し一層の利用促進を検討すべきとし、サンシップ今井浜については、温泉施設としての役割は終了し、今後は見高浜区の活性化に寄与する施設へ地元意向も踏まえた検討をすべきと提言しています。

委員会は、8月18日から3回協議を行いました。

news

各分野で町の発展に貢献 長年の功績をたたえ表彰 町表彰式・交通指導員35周年記念式典

平成23年度町表彰式と町交通指導員会発足35周年記念式典が11月3日、役場議場で行われました。

記念式典では、交通指導員4人に表彰状が贈られたほか、町内小中学校の児童・生徒が感謝の言葉を朗読し花束を贈呈しました。

【功労表彰】

宮本和夫さん（83歳） Ⅱ下
佐ヶ野Ⅱ 黒田昭男さん（76

歳） Ⅱ浜Ⅱ 佐藤多成さん（73歳） Ⅱ谷津Ⅱ 土屋敬逸さん（73歳） Ⅱ見高入谷Ⅱ 加藤四郎さん（72歳） Ⅱ浜Ⅱ 中村聰さん（70歳） Ⅱ見高

【感謝状】

佐藤みゑ子さん（83歳） Ⅱ東
京都中野区Ⅱ

【交通指導員】

鈴木逸男さん（70歳） Ⅱ小鍋
Ⅱ 相馬知明さん（71歳） Ⅱ下佐ヶ野Ⅱ 齋藤修身さん（65歳） Ⅱ上佐ヶ野Ⅱ 中村茂さん（73歳） Ⅱ見高浜Ⅱ



表彰式、式典後の記念撮影

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 12月19日(火)
13時30分～15時30分
1月10日(火)
13時30分～15時30分
場 所 保健福祉センター

■育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで、どんどん相談してください。

日 時 1月10日(火)
9時30分～11時30分
場 所 保健福祉センター
ふれあいホール
対象者 子育て中の保護者
内 容 身体測定、離乳食、育児相談など
持ち物 母子健康手帳

■母親学級（予約制）

妊婦さんのための教室です。
2回1コースの内容です。都合の悪い人は、どちらか1回の参加でもかまいません。

第1課 1月11日(水)
13時30分～16時
第2課 1月25日(水)
9時30分～13時30分
場 所 保健福祉センター 2階
内 容 母と子の歯科保健など
第1課 妊婦体操・呼吸法について、
第2課 分娩の準備と経過など
持ち物 母子健康手帳 動きやすい服装でお越しください。

乳がん検診のお知らせ

対 象	40歳以上で平成23年度に偶数歳になる女性		
受診方法	集団検診	日 程	1月10日(火) 11日(水) 12日(木) 13日(金) 14日(土) 16日(月) 17日(火) 18日(水)
		場 所	保健福祉センター 検診車
	医療機関検診	日 程	1月16日(月) 17日(火) 20日(金) 23日(月) 24日(火) 27日(金) 30日(月) 31日(火)
		場 所	佐藤医院
内 容	問診、マンモグラフィー		
負担金	1,000円（70歳以上は無料）		
※詳しい受診方法は、12月中旬に対象者に郵送でお知らせします。			

●今月のテーマ 過信は禁物 肺炎球菌予防接種

保健福祉課 ☎34-1937

現在、肺炎球菌予防接種のCMがテレビなどで放映され、特に65歳以上の人、呼吸器の病気や糖尿病がある人、施設などで集団生活をしている人に接種を勧めています。町でも11月から、65歳以上の人を対象に接種費用の一部助成が始まりました。



予防接種に頼らず健康な身体づくりを

しかし、予防接種を受けたからと言って過信は禁物です。まずは、肺炎にかかりにくい身体づくりに取り組みましょう。例えばバランスの取れた食事をし、睡眠をとり、適当に身体を動かす生活をする。口腔内の清潔を

保ち誤嚥を防ぎ、病気があればきちんと治療を受けることが大切です。肺炎球菌ワクチンは、肺炎の原因となる病原菌の中で一番多い肺炎球菌に有効なワクチンです。肺炎球菌以外の病原菌による肺炎に

1月は乳がん検診

乳がんは30～50歳の女性に多い女性特有のがんです。町では2年に1度、マンモグラフィーによる定期検診を行っています。対象者は忘れずに受診してください。

また、月に1度は触診による自己検診を習慣にしましょう。

【問い合わせ】

保健福祉課 ☎34-1937

ひとの動き

戸籍だより

(10月1日～30日届出)

相 談

身近なこと生活相談へ

日 時 12月21日(水) 10時～15時
場 所 保健福祉センター
ボランティア団体室
問 社会福祉協議会 ☎34－1286

日本年金機構出張相談

日 時 1月13日(金) (予約制)
9時30分～11時30分 13時～14時
場 所 下田市役所
問 下田市役所 国保年金係 ☎22－3922

高次脳機能障害相談会

「高次脳機能障害」とは、脳が病気や事故などで損傷されたあと、いろいろな症状がおこり日常生活がうまくいかなかった状態のことをいいます。相談は予約制で行います。
日 時 1月23日(月) 14時～
場 所 下田総合庁舎4階 相談室
相談担当 リハビリテーション専門医 ほか
問 賀茂健康福祉センター 福祉事業課 ☎24－2056

お知らせ

今月のふれあい町長室

日 時 12月26日(月) 1人20分程度
場 所 役場町長室
申 込 12月19日～22日に電話で申し込んでください。(団体不可)
問 まちづくり推進課 ☎34－1924

犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこの引き取り
日 時 12月14日(水)
13時～13時15分
場 所 役場前駐車場
問 町民生活課 ☎34－1932

献血にご協力ください

日 時 1月6日(金)
10時～11時15分
12時30分～15時30分
場 所 保健福祉センター 献血車
献血の種類
400ml献血 200ml献血
※献血手帳、献血カードをお持ちの方は、ご持参ください。
問 沼津赤十字センター ☎055－924－6611

エイズ検査と肝炎検査

検査前日の16時までに電話予約してください。検査は無料・匿名。
日 時 12月22日(木)
問診・採血 9時～12時(要予約)
結果通知
エイズ検査 14時～17時
肝炎検査 約1週間後
場 所 賀茂保健所1階 相談室
問 賀茂保健所 地域医療課 ☎24－2052

林退共からのお知らせ

林業退職金共済制度（林退共）に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない人を探しています。以前林業の仕事をしていたが、林退共に加入していたかわからない人についてもお調べします。
また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに対し各種手続き（共済手帳の紛失、退職金の請求など）の必要が生じた場合は、できる限りの範囲で速やかに対応したいと考えています。最寄りの支部または本部へ問い合わせ、ご相談くださるようお願いいたします。
問 独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 ☎03－5400－4334
<http://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/>

任期満了にともなう河津町財産区議会議員選挙

下河津財産区の議会議員選挙です
平成24年1月27日任期満了にともなう河津町財産区議会議員選挙を次のとおり行います。
選挙権の要件
20歳以上の人で、2年以上区内(大字浜・笹原・田中・沢田・逆川・峰・谷津・縄地・見高)に住所を有し、選挙人名簿に登録されている人
被選挙権の要件
選挙権を有するもので、25歳以上の人
※立候補予定者説明会、立候補者届出書類事前審査は役場で行いますので、立候補予定者は出席してください。
選挙する人数
各区議会12人（笹原・縄地区は各8人）
立候補予定者説明会
1月6日(金)
①10時～ ②13時30分～
立候補者届出書類事前審査
1月11日(水) 9時～16時
立候補届出受付
1月17日(火) 8時30分～17時
投票・開票
1月22日(日)
投票 7時～18時 開票 19時～
問 選挙管理委員会 ☎34－1957

年末年始ごみ収集日とエコセンターへの持ち込み

年末年始、エコクリーンセンター東河津力をお願いします。
問 町民生活課 ☎34－1932
エコクリーンセンター東河津 ☎0557－95－7111

と き	収集業務内容	持ち込みごみ受付時間 エコクリーンセンター東河
12月23日(金)	燃やすごみ（通常どおり）	8時15分～16時30分
12月24日(土)	収集は休みです。 ステーションにごみを出さないでください。	休みです。 (持ち込みできません)
12月25日(日)		
12月26日(月)	燃やすごみ（通常どおり）	
12月27日(火)	粗大ごみ・金属類・乾電池	
12月28日(水)	燃やすごみ（通常どおり）	8時15分～16時30分
12月29日(木)	収集は休みです。ステーションにごみを出さないでください。	
12月30日(金)	燃やすごみ（通常どおり）	
12月31日(土)		8時15分～11時
1月1日(日)	収集は休みです。 ステーションにごみを出さないでください。	休みです。 (持ち込みできません)
1月2日(月)		
1月3日(火)	燃やすごみ（特別収集）	
1月4日(水)	燃やすごみ（通常どおり）	
1月5日(木)	空き缶（通常どおり）	8時15分～16時30分
1月6日(金)	燃やすごみ（通常どおり）	

出初式開催場所の変更

平成24年町消防団出初式は、駐車場や道路交通事情などを考慮し、南小学校グラウンドから河津中学校グラウンドに会場を変更して開催します。
なお、式典終了後のパレードは、中学校を出発し笹原区画整理地内で行います。町民の皆さんのご理解とご声援をお願いします。
日 時 1月5日(木) 9時～
場 所 河津中学校グラウンド
パレード経路
中学校→区画整理地内→笹原公園前→放水場所（南小学校横トリムコース）
問 総務課 防災係 ☎34－1913

入札参加資格追加受付

町が発注する平成23・24年度の建設工事、物品製造などの入札参加資格申請の追加受付を行います。
日 時 1月23日(月)～2月24日(金)
土日・祝日は除く
受付場所 総務課 検査係
提出方法 持参または郵送（郵送の場合は2月24日必着）
有効期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日
提出要領 町ホームページを参照してください。書面希望の場合は、総務課までお越しください。
問 総務課 検査係 ☎34－1913
<http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/>

募 集

高等工科学校生徒募集

各分野の専門技術者を養成するコースです。月約9万5千円の生徒手当が支給されます。
資 格 平成24年4月1日現在で中学校卒業の男子（見込み含む）
受 付 1月6日(金)まで
試験日 1月14日(土)
問 自衛隊伊東地域事務所 ☎0557－37－9632

人口と世帯

(11月1日現在)			
人 口	8,062 人	前月比	(－8)
(男)	3,883 人		
(女)	4,179 人		
世帯数	3,334 世帯	前月比	(±0)



体育館の練習風景

kawa-jin

かわづの



10月から町内の体育館で活動している「河津ジュニアバレーボールクラブ」の総監督、田之上寛さんを紹介します。

田之上さんは、実業団のバレーボールチームで選手として活躍した後、亜細亜大学男子バレーボール部監督やボリビア共和国女子ナショナルチーム監督などを歴任した日本のバレーボール指導の第一人者です。伊豆には合宿で何度も来たことがある縁で、一昨年に河津に移り住みました。海が一望できる谷津の家には、親交があるバレーボール元日本代表選手なども訪れるそうです。

「河津ジュニアバレーボールクラブ」は、3歳から高校生まで約70

世界で活躍する選手を育てたい



バレーボール指導者

田之上 寛さん

たのうえ ひろし

谷津 53歳

国内外バレーボールチームの指導のほか、2002年釜山アジア大会ではセパタクロー日本代表チームをコーチとして銅メダルに導く。2011年10月、河津ジュニアバレーボールクラブを開設。

人が所属しています。監督のNEC女子バレーボール部でレギュラー選手として活躍した山田恵さん、上佐ヶ野さんと一緒に男女年齢別にバレーボールを教えています。

「悪いところを修正するのではなく、子どもたち一人一人に声をかけて良いところを伸ばす」が田之上さんの指導方針。「伊豆の子どもたちは覚えが抜群によい、動きも機敏で教えたことがすぐにできる」と高評価です。

「まずは県内トップを目標に、いずれは全国・世界で活躍できる選手を育てたい」と目標を語る田之上さん。田之上さんの指導によるクラブの成長が楽しみです。

【取材】島崎 隆光さん 民間広報協力員

「町の魅力を再発見しよう！」と始まった民間広報協力員特集。9人の協力員が町内を歩いて取材しました。実は、23地区の特集は平成5年に広報かわづで一度取り上げています。今回は18年ぶりとなる第2弾です。取材では、初めて



行く場所あり、なるほどの話あり、おもしろいエピソードも聞くことができ、たくさんの人と出会うこともできました。地域の皆さんあつてこそその広報かわづだなとあらためて実感しました。ありがとうございました。

(C)

姉妹都市長野県白馬村通信

大北北部地震総合防災訓練 防災講演会



講演する山崎氏

11月13日（日曜日）に平成23年度の大北北部地震総合防災訓練として、白馬村ウィング21ホールを会場に防災講演会が開催されました。会場は一般参加者約350人と消防団員約100人で埋め尽くされ、参加者は講師の講演に熱心に聴き入っていました。

講演会のメインは、白馬村の隣、大町市出身でNHK解説委員の山崎登氏による東日本大震災を踏まえた地域防災に関する内容でした。講演では、3月11日に放送された地震番組が放映され、緊急地震速報の音が会場に鳴り響くと、3月11日の記憶が蘇り、参加者が地域防災に対する考え方を再認識する場となりました。